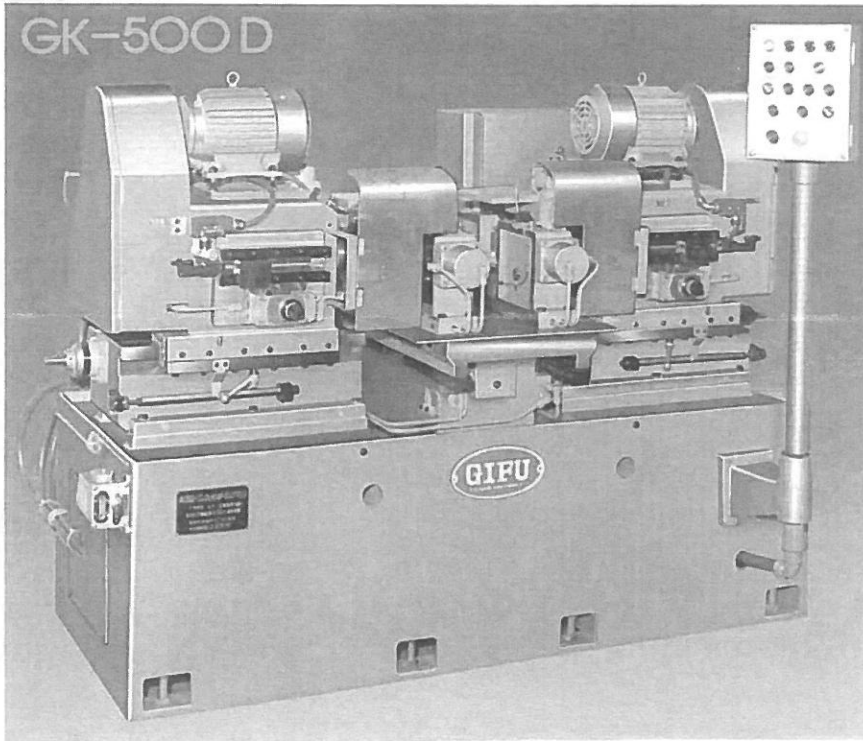


センターリングマシンの スタンダード

MILLING TYPE CENTERING MACHINES



● 特長

D・SAは、ワークシャトル、500・900・1200SAは、ボックスシャトルにて、全長決め加工を行います。

500Dはテーブルタイプの為、治具の応用により、カッターリリーフと合わせ、両頭フライスとしての加工にも適します。

● 仕様

項目	形式	GK-500D	GK-300SA	GK-500SA	GK-900SA	GK-1200SA
加工し得る径		20~80 ^{mm}	15~40 ^{mm}		20~70 ^{mm}	
加工し得る長さ		170~500 ^{mm}	80~300 ^{mm}	160~500 ^{mm}	160~900 ^{mm}	160~1,200 ^{mm}
ボックスストローク					200 ^{mm}	
テーブルストローク		180 ^{mm}	130 ^{mm}			
テーブル・ボックス送り速度				0~3,000mm/min		
ドリル軸ストローク		50 ^{mm}	70 ^{mm}		40 ^{mm}	
カッター径		4吋	3吋		4吋	
カッター軸回転数		325r.p.m	470r.p.m		370r.p.m	
ドリル軸回転数		960r.p.m	1425r.p.m		1,200r.p.m	
カッター軸電動機		1.5KW-6P(2台)	0.75KW-6P(2台)		1.5KW-6P(2台)	
油圧ポンプ電動機				1.5KW-4P		
センタードリル取付方式		ソケット方式	ドリルチャック方式		ソケット方式	
切削油ポンプ				60W		
ワーククランプ方式				両締バイス(ラックピニオン方式)		
機械芯高(床面基準)		940 ^{mm}	930 ^{mm}		975 ^{mm}	
機械重量		1,600kg	850kg	1,300kg	1,500kg	1,700kg
据付面積		2,200×1,500 ^{mm}	2,000×1,400 ^{mm}	2,000×1,700 ^{mm}	2,400×2,000 ^{mm}	2,800×2,000 ^{mm}